本村で県下俳句大会

坪谷十九一氏が総合優勝

小阿賀吟社創設の師である初代民選村長佐藤準一郎氏の句碑（昭和四十五年公民館前庭に建立）讃仰と昭和二十年に創立された木津俳句同好会小阿賀吟社の創立を記念して八月二十四日横越村公民館で県下俳句大会が開かれた。

県下各地から俳句愛好者七十六名が参加し、午前九時席題「蟬、蜩、稲妻」と一句競詠題「筏」が発表され、午前十一時三十分まで詠句された。

このあと20名の選者によって作品の審査が行われた。

これより先、兼題募集「ポート、早、草茂る」は、六月末日〆切られ、県下各地から一六六人、八三〇句の応募作品があった。

開会式は、午後十二時三十分から行われ、田中郁郎大会々長のあいさつのあと長瀬収入役の来賓の祝辞があった。

このあと兼題披露、兼題識選披講、席題披講、一句競詠披講、賞状、賞品の授与が行われた。

今大会で本村関係者は、兼題、席題総合成績で、坪谷十九一氏が一位になったほか、兼題、席ともに上位入賞をし、本村俳句界のレベルが高いことをしめした。

成績は次のとおり

○兼題

一位　県知事賞　蝶名林芙蓉（下田村）

二位　衆院議員稲葉修賞　坪谷十九一（横越村）

三位　衆院議員渡辺紘三賞　今井　秀虹（横越村）

四位　衆院議員旗野進一賞　酒井　隅子（三条市）

五位　村農業委員会長賞　斎子堅一郎（燕　市）

○兼題高点句

県会議員石塚光雄賞　大旱土工全く啞となる　知野蝶一路（白根市）

○席題

一位　村長賞　斎子堅一郎（燕　市）

二位　村会議長賞　浅野　楓雪（豊浦町）

三位　亀田郷土改理事長賞　小林　竹生（横越村）

四位　村農協組合長賞　坪谷　耕雨（横越村）

五位　村教育委員会委員長賞　坪谷十九一（横越村）

○席題高点句

県会議員斎藤勝男賞　朝市の野菜露まで計られる　蝶名林芙蓉（下田村）

○兼、席総合優勝

参院議員佐藤隆賞　坪谷十九一（横越村）

○一句競詠

塚田十一郎賞　福井　雪山（三条市）

ハサ木

横越下　佐藤作太郎

コトンゴトンと地響きのするものが近づいてきたと思ったら、鉄のショベルが私をゆすりはじめた。私は懸命にこらえたが耐えきれず、四方八方の根も切れて倒れてしまった。隣りの仲間も次々と倒れてみるからに無惨な姿となってしまった。

しかし、今思う時、私達仲間は小さい時から、この場所に育ち生長した。そしてもう二十五年もなった。

区画整理が終った翌年の晩秋であった。A農夫は、私達仲間を籠に入れて背負ってきた。道の端でドッカリと腰をおろして、キセルで煙草を吹いながら何か考えこんでいた。

そこをB農夫が通りかかり「ヤアー、イエーハサ場ダノーヤッパリ生木ハサバデキネダメラノー」と云って過ぎ去った。

それから私達は一本一本丁寧に行儀よく植えられた。そして仲間は此処が永住の場所となった。

それからは、冬が近づくと雪に倒れないように竹棒をさして可愛いがってもらった。

春になると早く肥料をもらってすくすくと成長した。背丈も伸びて幹も大きくなった秋であった。A農夫は、私達仲間に竹を横に三本しばっていった。その後重い稲を架けた。仲間は驚いたけれども皆んなで協力してこらえた。

翌年の秋は、こんど四本しばった。そして、一年毎に竹を多くしばられるようになった。台風や豪雨の時には、仲間同志が全力を出し合って耐えてきた。冬嵐の吹く頃になると竹や縄をとり払ってやっと身軽になるのであった。

ところが、去年どうしたことか秋になっても、竹をしばりに来なかった。仲間は不思議に思って怒った。秋晴れの日曜日であった仲間の根元の田圃でものすごいエンジンの音と一緒に稲を脱穀して藁を田圃一面にまきちらして一時間位で行ってしまった。

仲間はやっとわかった。コンバインを買ったのだ。その時私達を丹精こめて可愛いがってくれたA農夫の姿は見られなかった。農業を停年になって伜と交代したのだろうか。それとも……それからA農夫の顔を見ることなく生息耐の自信を失った。

そして時代の流れには抵抗も出来ない淋しさを話し合った。しかし、私達はもっともっとA農夫に感返しがしたかった。また、私達仲間が田圃から消える時、昔からの田園風景が見られなくなるのが淋しくてたまらない。

横越下地区
明るい家庭づくりの推進組織できる

新潟県から青少年健全育成を核にした「明るい家庭づくりの推進地区」に指定されていた横越下地区は、この事業をすすめるために、春以来部落の世話人会議を開催して、地区推進組織づくりと推進事業を検討してきたが、このほど次要をまとめた。

それによると、明るい家庭づくりは地域ぐるみで運動を展開することを基本にするため、部落組織の中に同組織を位置づけ、育成部と推進部を置いている。

推進協議会長に佐藤松次郎氏、副会長に桜井一作氏、田村三茅氏、高橋達一郎氏、会計に加藤守氏を選任した。

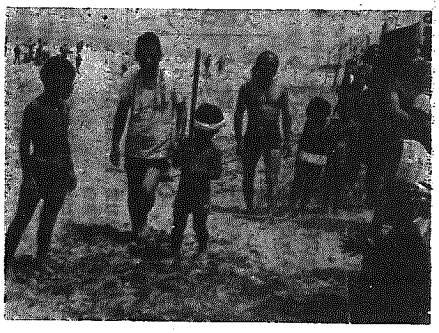
育成部は、PTA、青年団関係者が中心に組織され、子ども会育成を重点に事業を計画。

推進部は、婦人会、部落有志指導者を中心に組織し、明るい家庭づくりのPR事業と住民の参加事業を計画した。

なお、同指定事業は、県費村費から一〇万円が助成されている。

同事業を地域住民から理解と協力を求めるために、八月二十四日宗賢寺で〝人形劇と明るい家庭づくりの集い〟を開催した。

当日、子ども会、老人クラブ、婦人会、一般参集者、部落関係者一三〇名が参加、部落長あいさつ、推進協議会長の地区指定の経過と組織、事業の説明、子ども会から同日開かれた、青少年球技大会報告があったあと、笹神村光円寺住職渡辺豊氏の指人形による〝明るい家庭づくり〟の講演があった。



スイカ割りで楽しむ
横越下地区親子海水浴

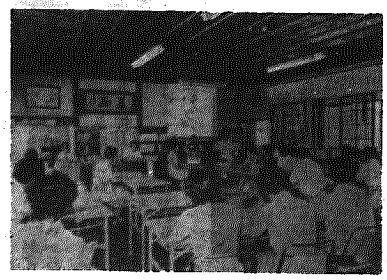
連P学習会開催さる

〝子どもの健全育成をはかるため、家庭生活における父母の役割はどうあったらよいか〟を主題に、八月三日横越小学校で村連合PTA学習会が開催された。

当日、父母、教師ら一五〇名が参加した。

午前九時三十分から「親子学習」で①一年生…読書のしかた②二年生…読書のしかたと時間のとりかた③三、四年生…夕食時の話し合いのもち方。④五分から「親子学習」で①一年生…読書のしかた②二年生…読書のしかたと時間のとりかた③三、四年生…夕食時の話し合いのもち方。④五分科会①お手伝いのしかた。②夕食時の話し合い。③読書のしかたと時間。に分れ、実践発表と熱心な話し合いが行われた。

午後から全体会と元新潟市公民館長吉津勝栄氏の「子どもの将来と親の責任」について講演を聞いた。



ミニコロニー募金協力お礼

先般三市中東蒲原地区に精神薄弱者更正施設「ミニコロニー」誘置の署名と、建設賛金にあてるための募金運動を実施いたしましたが結果、村民各位のあたたかいご協力をいただき、募金総額六七〇、八五七円の実績をあげることができました。

深く感謝を申し上げますとともに、今後とも三県三町村の交流を深める。OB会の親ぼくをはかる。青年団活動の発展を期すため、後輩の指導、助言にあたる。三県青年団の発展をめざす。ところにあるという。この青年団OB会は、毎年会場持ち廻りで開かれる。

ただいま、中東地区ミニコロニー設置促進委員会が組織され強力な運動を展開、早期設立を期しておりますのでお礼旁々、ご報告を申上げます。

横越村社会福祉協議会
横越村連合青年団

佐渡で三県青年団OB研修会

村連青が茨城県美浦村、栃木県二宮町との青年交流を深めているが、八月三日この三町村の青年団OB四十三名が本村に集まり、公民館で発会式を行ったあと、佐渡相川町で一泊二日の合同研修会がもたれた。

三町村青年団OB会を発足した目的には、今後とも三県三町村の交流を深める。OB会の親ぼくをはかる。青年団活動の発展を期すため、後輩の指導、助言にあたる。三県青年団の発展をめざす。ところにあるという。この青年団OB会は、毎年会場持ち廻りで開かれる。

村民野球大会
ブラックが初優勝

昭和五十年度村民野球大会は、八月十六、十七、三十一日鮫山野球場と沢海グランドで行われた。

参加チームは、さきの早起野球大会を上廻る二十四チームが参加して、真紅の大優勝旗をめざして熱戦がくりひろげられ、ブラックが初優勝した。

十六、十七日の両日は、おりからの台風五号の影響で強い南西風と気温33度という猛暑のなか行われ、一回戦で早くも早起野球大会で優勝したロートルズが敗退した。また順当に勝ち進むと予想されたチームも続々と敗れた。

ベスト4に横越農協、ゴールデンアームズ、ブラック、ヤンキースが勝ち進んだ。

準決勝、決勝は二十四日開催の予定であったが、台風六号でグランドコンディション不良のため、三十一日に延期した。

決勝は、ブラックとゴールデンアームズの対戦となった。

初回裏Gアームズは、1点先取したものの、ブラックは二回表増渕君の三ランホーマー、続く三回には坂爪君のソロホーマーを含む三点を加点試合を有利にした。七回にはダメ押の二点をあげた。

一方、Gアームズは、一昨年の優勝者の面目もあって、ねばったもののチャンスに一発が出なかった。結局6対2で、ブラックが勝ち、真紅の大優勝旗を手にした。

第6回俳句作品公募
～初心者大歓迎～

(1)公募句題（通じて六句）
○夜（よる）　乗夜（のりよる）・夜仕事
○赤蜻蛉（あかとんぼ）（西蜻蛉）
○野菊

(2)〆切十月三十一日まで

村民大運動会開催

期　日　10月12日（日）
会　場　横越中学校グランド
出場申込　青年団、婦人会、各分館。
主催　横越村、村連合青年団、村連合婦人会
村体育協会、横越村公民館

横越村の人口

（50年7月末現在）

総人口8,205人　うち男4,008人　女4,197人
世帯数 1,795世帯

7月の動き　出生12　死亡12　転入10　転出18